



技術の担い手だよ

若手技術者編

どのような仕事に就きたいかは明確ではなかった。けれど、地元のインフラに携わりたいと考えたと語る魚住亮太さん。勤務するのは、福岡市水道局。市民のライフラインを守り、維持管理する仕事だ。配属されて2年目、工事監督（令和2年4月から設計業務担当）として心がけていること、目標、また公務員を目指す人へのメッセージを伺う。

●この職業を選んだきっかけ

都市工学科を卒業しましたが、「特定の分野で働きたい」という目標はありませんでした。ただ、漠然と地元のインフラに携われること、遠方への異動がなく安定した環境。この二つの条件から公務員を目指しました。

入庁してからは、学びの連続です。最初の配属先は鮮魚市場、その次は林業の部署でした。さまざまな経験ができるのも公務員ならではです。林業は、想像したことのない分野でしたので、何度も先輩に質問していました。将来についてまだ曖昧ですが、道路や下水道、まちづくりなど、幅広い分野で経験を積みたいと思います。

●職場の魅力や責務

水道局に配属されて最初に教え込まれた私達の使命は、「安全で良質な水の安定供給」です。局内では、この共通意識が何をするにも優先されます。この使命のもと、結束力も強く自分もその一員になれたことが、誇らしくもあり魅力です。

仕事は配水管の新設及び更新の工事監督（令和2年4月から設計業務担当）をしています。工事が始まると、交通規制や騒音など、市民の日常生活に不自由をおかけすることがあります。それを可能な限り軽減し、工事の目的を理解していただくことも責務であると思います。

●仕事のこだわり、ポリシー

仕事で関わる方々とのコミュニケーションを何よりも大切にしています。仕事の話だけではなく、気軽に世間話ができる関係を築き、また一緒に仕事がしたいと思っただけのようにならぬように努めていきたいと思っています。

●仕事上で印象的なエピソード

今でも思い出すのは林業の部署です。森林の保育管理に係る新規事業において、業務委

担い手シリーズ 16

# やりたい仕事は 経験を経て見つける。 情熱はそこから

魚住 亮太 入社6年目（設計係）  
福岡市水道局 配水部西部管整備課 設計係



塩素濃度測定作業



魚住 亮太（うおずみりょうた）  
福岡県春日市出身。佐賀大学理工学部都市工学科卒業。平成27年4月福岡市役所入庁。  
福岡市水道局  
812-0011 福岡市博多区博多駅前1-28-25  
TEL:092-483-3062 / FAX:092-483-3643

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/>

託の発注及び監督を行っていました。保育管理をする対象は市の森林以外に、\*分収林制度に基づく森林も含まれていました。間伐計画を立て、その内容を森林所有者へ説明し、同意を得たあとで間伐を実施しました。

委託業務の設計・監督や補助金の申請など、目の前の業務を処理することに精一杯だったことを、今でも覚えています。その甲斐あって間伐材の売却による収益を森林所有者に還元することができ、感謝の言葉をいただきました。それまでの過程が報われたと感じました。

●今後の目標と公務員を志望する方へ  
入庁から約6年経ちました。漁業や林業、上水道の分野に係ることで、進むべき道が少しずつ見えてきました。土木施工管理技士の資格取得も視野に入れ、今後は工事監督や設計業務の経験を積み、都市計画等にも携わりたいと思います。

公務員は、約3年ごとに人事異動があり、職場環境が変わります。得手不得手はあるかもしれませんが、それは自分の世界を広げるチャンス。市民のみならず、すべての業務が繋がっているのが手ごたえもあります。それを繰り返していくと、目標も定まってくる。成長できる場として、公務員を選択のひとつに選んでもらえればと思います。

\*分収林制度…市が森林所有者に代わって森林の保育管理を行い、成林後に分収木を販売し、その収益を市と森林所有者とで予め契約した一定の割合で分収する制度